

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	飯尾 雅昭				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

「子ども・子育て・家族について」考える。現代社会における子どもや子育てをめぐる問題は、社会情勢の変化や昨今の厳しい経済状況などで、多様で複雑なものとなってきている。児童養護は、多くの場合家庭を基盤にして、子どもの家族による養育としておこなわれている。しかし「児童養護」のすべてを家族が担えるわけではなく、社会的なサービスや支援などを活用することも重要である。保育実践演習Aでの学びをもとに考えを深め、最も関心のある題材を選び、子ども・家族を支えるために必要なことは何かを深め、実践できる力を身につける。

《参考図書》

必要に応じて資料などを配付する。

《教科書》

なし

《授業の到達目標》

1. 自分史の作成を通して家族について考える。
2. 子どもに関わる時事問題について探求し理解する。
3. 身近な題材（新聞・ニュース・雑誌・コミック・エッセイ等）を用いて、現代の子育ての事情を収集しまとめる。
4. 自分の関心のある研究テーマを設定し、研究論文としてまとめ、発表する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

授業態度（50％）・発表（30％）・提出物（20％）など総合的に評価する。

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	自分史の作成①	自分史について調べる。/これからの課題を明確にして、次の予習をしておく【30分】
2	自分史の作成②	自分史について調べて、家族について考える。/これからの課題を明確にして、次の予習をしておく【30分】
3	子ども・子育て・家族①	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析①/情報を収集や分析をして次の予習をしておく【30分】
4	子ども・子育て・家族②	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析②/情報を収集や分析をして次の予習をしておく【30分】
5	子ども・子育て・家族③	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析③/情報を収集や分析をして次の予習をしておく【30分】
6	子ども・子育て・家族④	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析④/情報を収集や分析をして次の予習をしておく【30分】
7	子ども・子育て・家族⑤	子ども・子育て・家族に関わる情報収集と分析⑤/中間発表に向けて、これまでの課題を整理し発表する【30分】
8	中間発表会	子ども・子育て・家族に関わるまとめ・中間発表/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
9	卒業研究論文①	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
10	卒業研究論文②	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
11	卒業研究論文③	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
12	卒業研究論文④	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
13	卒業研究論文⑤	資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【30分】
14	卒業研究論文⑥	【課題研究】資料収集からまとめ 研究論文の作成/卒業論文作成のため、課題を明確にして、資料収集等具体的に進める【90分】
15	研究発表会	【課題研究】資料収集からまとめ 研究論文の作成/これまでの研究成果を発表し、意見交流する【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	川野 敬子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期「保育実践演習A」でまとめたテーマに関する基礎的な学びをもとに、より個別的なテーマを設定し、学びを深め研究論文としてまとめるための方法を概説する。個別のテーマとしては、「ASD・ADHD・LDの乳幼児の特性理解・環境調整・発達を促進させる遊びや関り・保護者理解とその支援など」に関することなどがあり、それぞれについて具体的に概説する。書籍や論文から学ぶ方法や保育現場での子どもの姿を見ることで自分自身の知りたいことがより明確になっていくことなどについて概説する。

《参考図書》

授業内で指定します。

《教科書》

指定しません。

《授業の到達目標》

1. 現場に出向き、子どもたちの姿を見ることで特別支援のニーズを持つ子どもと出会い、その子どもの環境調整や発達を促す保育について主体的に考えることができる。
2. 自分なりの保育におけるテーマをもち子どもの成長につながる課題指摘できる。
3. 論文作成に必要なデータを収集し、分析する力を高める。
4. 学んだことを論理的に表現する力を高める。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：-
保育士：必修
備考：

《成績評価の方法》

課題（完成した研究論文）70%、発表（卒業論文発表会でのポスター発表）30%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

中学校教諭、高等学校教育相談支援、保健センター発達支援心理士として勤務。教育業務や保護者支援を通して、子どもやその保護者に関わってきた実務経験をもとに授業を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	保護者支援について考える①	ペアレントトレーニングのワークショップを通じて、保護者支援について理解する。/ワークショップのまとめの作成【30分】
2	保護者支援について考える②	ペアレントトレーニングのワークショップを通じて、保護者支援について理解する。/ワークショップのまとめの作成【30分】
3	研究論文作成の道筋の理解	研究論文作成にあたっての手続きについて理解する。/研究論文の執筆計画記入【30分】
4	文献の収集と考察①	研究課題に対しての文献の検索・整理する。 /文献の収集と整理【30分】
5	文献の収集と考察②	研究課題に対しての文献の検索・整理する。 /文献の収集と整理【30分】
6	データの収集と整理①	データ（事例・アンケート・インタビューなど）を収集する。 /データの整理【30分】
7	データの収集と整理②	データ（事例・アンケート・インタビューなど）を収集する。 /データの整理【30分】
8	データ分析	収集したデータを分析する。/データの整理【30分】
9	研究論文の執筆②	データ分析したものをもとに、研究論文として整理する。/論文の執筆【30分】
10	研究論文の執筆③	データ分析したものをもとに、研究論文として整理する。/論文の執筆【30分】
11	研究論文の執筆④	データ分析したものをもとに、研究論文として整理する。/論文の執筆【40分】
12	発表用ポスター作成	研究発表会用のパワーポイントの作成 /発表準備。【40分】
13	研究発表	プレゼンテーション /これまでの実践で得た学びを整理する【40分】
14	研究発表準備①	【課題研究】研究論文完成のための準備。/準備物の作成【90分】
15	研究発表準備②	【課題研究】研究論文感性のための準備。/準備物の作成【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習 B				
担当者氏名	糠野 亜紀				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期（保育実践演習 A）で見出した「自分自身が関心を持っている課題（テーマ）」について探求し、「論文」としてまとめる。テーマ（課題）は何でも構わない。子どもに関すること、青年期の特性、保育現場における現代的課題など、自分自身でテーマを設定し、その問題について文献などを通してしっかりと理解を深めることを第一の目標とする。また、仲間との議論をとおして「問題解決」の視点から分析および考察を行う。演習内で他の学生との議論や検討を通して、自分の考えを言葉にして意見表明し、相手に伝えるというコミュニケーション力の育成も目指す。各々の研究テーマを研究論文としてまとめ、その概要について口頭発表を行い、プレゼンテーション力を養う。

《参考図書》

特になし

《教科書》

適宜、プリント・資料を配付。

《授業の到達目標》

1. 保育における現代的課題について、その解決策を理解する。
2. 研究テーマについて論文としてまとめる力を身につける。
3. 研究論文の概要について口頭発表する力を身につける。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A 1 6
 担当形態：クラス分け
 幼稚園教諭：－
 保育士：必修

《成績評価の方法》

授業態度、発表、提出物などを総合的に評価する。

受講態度：30% 発表の内容：30% 課題（提出物）：40%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	オリエンテーション	授業内容や到達目標などについて確認する 研究論文について概説する/研究テーマにそった先行研究を探す【30分】
2	研究計画書の立案	研究計画書の作成、立案方法について指導する/研究計画の案を作成する【30分】
3	研究計画書の作成	研究テーマにあった研究方法を構築し、計画書を作成する/立案した計画書を再考する【30分】
4	研究論文の作成(1)	先行研究を調査する/先行研究を熟読する【10分】
5	研究論文の作成(2)	先行研究について議論する/議論した内容を整理する【10分】
6	研究論文の作成(3)	進捗状況の説明（中間発表会）/研究計画書を完成させる【40分】
7	研究論文の作成(4)	中間発表をふまえた研究計画の修正/研究計画書を再考する【30分】
8	研究論文の作成(5)	研究調査の実施、データ収集/データ収集の方法を検討する【30分】
9	研究論文の作成(6)	データの分析方法を学ぶ/データ分析を行う【30分】
10	研究論文の作成(7)	研究調査結果のまとめ/結果のまとめを行う【30分】
11	研究論文の作成(8)	研究調査の考察/考察を行う【30分】
12	研究論文の作成(9)	研究論文への指導および体裁調整/論文の作成および提出【40分】
13	口頭発表に向けて(1)	研究発表の意味とプレゼンテーションの理解/プレゼンテーションの作成【30分】
14	口頭発表に向けて(2)	【課題研究】研究発表における資料の完成/発表に向けての準備【90分】
15	総括	【課題研究】研究論文の口頭発表/発表について振り返る【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	小谷 朋子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

後期のテーマ：教師の役割として、音楽を「学ぶ」ではなく、「感じる」ことを重視する。

「保育実践演習B」では、「保育実践演習A」で学んだ音・音楽の及ぼす影響への理解をもとに、教育実践において、最も大切にされるべき乳幼児音楽活動を、子どもの発達を軸に考えていきましょう。音や音楽に関する個別テーマを設定し、先行研究等を調べて考察し、じっくり検討を行うなかで論を立てていきます。

《参考図書》

必要に応じ、演習内で指示。

《教科書》

随時、必要に応じて資料を配布する。

《授業の到達目標》

1. 子どもの周辺の「音環境」に対して常に関心を持ち、その在りかたについて自分なりに考えを持つ。
2. 保育者に必要な、子どもの音楽想像に対する理解を深め、さまざまな配慮ができるようになる。
3. 文献などの資料を分析し、要約の作成を的確にできるようにする。
4. 他者の意見を尊重しながら、議論する習慣を身につける。
5. 自己の学び（課題）について、論理的に口頭で発表できるようにする。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

研究計画書20%、研究論文40%、発表20%、平常点（受講態度等）20%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	研究テーマ設定	「保育実践演習A」から課題を明確にし、研究テーマを設定する/自己の課題について、文献などの資料の収集、分析に努める【30分】
2	研究計画の立案	各自の研究テーマに関して、先行研究・文献の内容報告をし、検討する/先行研究・文献内容を熟読しておく【30分】
3	研究計画書の作成	研究のプランニングとスケジュール表の作成/各自の研究テーマに関して、研究計画を練っておく【30分】
4	研究論文の作成1	研究についての個別指導①/収集した先行研究・文献内容をもとに、課題を整理し、自ら調べていく【30分】
5	中間報告	各自の中間発表、文献研究のまとめ/自己の課題について自ら調べた内容を発表し、研究の修正箇所について検討する【30分】
6	研究論文の作成2	研究についての個別指導②/各自の研究テーマに関して課題を整理し、調べていくなかで考察を行う【30分】
7	研究方法の検討	研究方法の検討と進捗状況の確認/自己の課題について考察を行い、研究方法を検討しておく【30分】
8	研究計画の確認	研究計画の修正および検討/自己の課題について自ら調べた内容を再検討し、研究計画の修正を図る【30分】
9	研究論文の執筆1	研究の進捗状況報告個別指導①/自己の課題につき研究計画の修正および検討したことを整理しておく【30分】
10	研究論文の執筆2	研究の進捗状況報告個別指導②/各自の研究が、どれだけ進んでいるかの程度を示す準備をしておく【30分】
11	研究論文の執筆3	研究の進捗状況報告個別指導③/他者の進捗状況も目安にしなが、研究論文の執筆を行う【30分】
12	研究論文の執筆4	研究の進捗状況報告個別指導④/文献などの資料の分析や要約が丁寧に行われているか再確認しておく【30分】
13	研究発表会	研究の成果発表/自己の課題につき論理的に研究発表し、他者に伝えるようにしておく【30分】
14	研究発表のための準備①	【課題研究】発表資料の検討と決定/研究発表会において、視覚的にも理解してもらえやすいように客観的な点で準備する【90分】
15	研究発表のための準備②	【課題研究】発表方法の検討と決定/研究発表会において、順序立てて論理的に発表できるように準備しておく【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	ト田 真一郎				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期「保育実践演習A」でまとめた各テーマに関する基礎的な学びをもとに、より個別なテーマを設定し、学びを深め、研究論文としてまとめていきましょう。個別のテーマとしては、「子どもの人権を育てる保育のあり方」「クラス集団作り」「多文化共生保育」「民族保育」「同和保育」「障がい共生保育」「ジェンダー・フリーの保育」「セクシュアル・マイノリティに関わる保育」などが考えられます。単に書籍から学ぶだけではなく、現場に出向き、当事者と出会い、声を聴くこと、保育現場での子どもの姿を見ることで、「論文の作成」だけを目的とするのではなく、自分の価値観、人権感覚に揺さぶりをかけることが、研究論文作成の目的です。

《授業の到達目標》

1. 現場に出向き、当事者と出会い、声を聴くことで、自分の価値観、人権感覚に揺さぶりをかけ、自らが子どもの人権について主体的に考えることができる。
2. 自分なりの問題意識をもち子どもの人権に関わる課題を指摘できる。
3. 論文作成に必要なデータを収集し、分析する力量を高める。
4. 学んだことを論理的に表現する力量を高める。

《成績評価の方法》

課題（完成した研究論文）80%、発表（卒業論文発表会でのポスター発表）20%

《参考図書》

授業内で指定します。

《教科書》

指定しません。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	研究論文作成の道筋の理解	研究論文作成にあたっての手続きについて理解しましょう/研究論文の執筆計画記入【60分】
2	文献の収集とレビュー①	各自が取り組むテーマの先行研究を収集し、レビューを行います/文献の収集と整理【60分】
3	文献の収集とレビュー②	各自が取り組むテーマの先行研究を収集し、レビューを行います/文献の収集と整理【60分】
4	文献の収集とレビュー③	各自が取り組むテーマの先行研究を収集し、レビューを行います/文献の収集と整理【60分】
5	オリジナルデータの収集①	各自がテーマに応じたオリジナルデータの採取方法を検討し、データ収集を行います/データ収集の方法の検討【60分】
6	オリジナルデータの収集②	各自がテーマに応じたオリジナルデータの採取方法を検討し、データ収集を行います/データ収集と整理【60分】
7	オリジナルデータの収集③	各自がテーマに応じたオリジナルデータの採取方法を検討し、データ収集を行います/データ収集と整理【60分】
8	オリジナルデータの収集④	各自がテーマに応じたオリジナルデータの採取方法を検討し、データ収集を行います/データ収集と整理【60分】
9	研究論文の執筆①	先行研究のまとめとオリジナルデータをもとに、研究論文として整理します/論文の章立て作成【60分】
10	研究論文の執筆②	先行研究のまとめとオリジナルデータをもとに、研究論文として整理します/卒業論文の執筆【60分】
11	研究論文の執筆③	先行研究のまとめとオリジナルデータをもとに、研究論文として整理します/卒業論文の執筆【60分】
12	研究論文の執筆④	先行研究のまとめとオリジナルデータをもとに、研究論文として整理します/卒業論文の執筆【60分】
13	発表用ポスター作成①	研究発表会用のポスターを作製します/ポスター作成【60分】
14	発表用ポスター作成②	【課題研究】研究発表会用のポスターを作製します/ポスター作成【90分】
15	研究発表会	【課題研究】研究発表会で、自分の研究成果を報告します（ポスター発表の形式で実施します）/他のゼミ生の発表の感想記入【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	白井 由希子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期の「保育実践演習A」の学びをもとに、自分自身が研究したいテーマにそって取り組む。そして、研究した内容を論文としてまとめ、その成果を研究発表会で発表する。
研究を進めるためには、自分の興味があることについて調べたり、調べた内容をまとめたり、それらを限られた時間内で完成に近づける力が求められる。よって本演習では「自分自身で考える」「実際に書く・作る」「ふり返る(評価する)」といったことを中心に、自主的かつ積極的に活動する姿勢を大切にしたい。

《参考図書》

必要に応じて、授業内で紹介します。

《教科書》

《授業の到達目標》

- ・研究の目標達成を考え、そこに至るまでのスケジュールを立て、活動できる自主性を習得する。
- ・研究の内容を論文としてまとめる力を習得する。
- ・研究の内容をスライドにまとめ、発表できる力を習得する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

課題（論文・抄録）50%、発表30%、平常点（受講態度・課題などに取り組む姿勢）20%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

学校法人私立幼稚園での実務経験をもとに保育・教育現場における情報技術の活用について演習を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	保育実践に向けて①	保育実践に必要なものを準備する。/保育実践に向けて必要なものを準備する。【30分】
2	保育実践に向けて②	保育実践に必要なものを準備する。/現状を把握し、今後のスケジュールを考える。ゼミのメンバーと協力しあい、意見交換しながら改善していく。【30分】
3	保育実践に向けて③	保育実践に必要なものを準備する。/現状を把握し、今後のスケジュールを考える。ゼミのメンバーと協力しあい、意見交換しながら改善していく。【30分】
4	保育実践に向けて④	保育実践に必要なものを準備する。/保育実践の準備を確認し、不足していることを補う。【30分】
5	保育実践①	保育実践を行う。/保育実践の内容をふり返り、記録する。メンバーの発表を見て、意見交換し、お互いの内容を深め合う。【30分】
6	保育実践②	保育実践を行う。/保育実践の内容をふり返り、記録する。メンバーの発表を見て、意見交換し、お互いの内容を深め合う。【30分】
7	研究論文の作成①	論文の書き方を確認し、論文を書き始める。/これまでの活動内容をふり返り、論文としてまとめる【30分】
8	研究論文の作成②	研究論文を書き進める。/個別指導の内容をもとに修正を行う。【30分】
9	研究論文の作成③	論文の初稿を完成する。/個別指導の内容をもとに体裁を整える【30分】
10	論文の完成・抄録の作成	初稿の個別指導をもとに、完成を目指す。研究論文をもとに抄録を作成する。/抄録の書き方を理解し、抄録を作成する。【30分】
11	研究発表会に向けて①	研究発表会に向けて、発表資料を作成する。/研究発表会の準備を進める。【45分】
12	研究発表会に向けて②	研究発表会の練習をする。/研究発表会の練習をし、不足していることを補う。個別指導の内容をもとに修正を行う。【45分】
13	研究発表会	研究の成果を発表する。/1年間をふり返り、学んだことや今後に向けていかしたいことをまとめる。【45分】
14	研究内容に関連して①	【課題研究】研究テーマに関する本を読み、その内容をまとめる。/研究テーマに関する本を探し、知識を深める。【90分】
15	研究内容に関連して②	【課題研究】研究テーマに関する内容をインターネットで調べ、その内容をまとめる。/直接テーマとは関係なさそうなことにも視野を広げ、テーマと繋げて考えてみる。【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	高村 公一				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期の学び（自己を見つめる・先人の保育者・教育者像を学ぶ・実践者から学ぶ）をもとに、「子どもの権利条約」を共通教材として読み深め、さらに個別的なテーマを設定し、研究論文としてまとめていきましょう。
 個別のテーマとしては、「求められる保育者とは～倉橋惣三から学ぶ～」「子どもの人権力を育てる保育者のあり方」「保幼小連携と子どもの人権」などが考えられます。文献から学ぶだけでなく、当事者へのインタビューを行うことなども有効な手立てとなるでしょう。「論文作成」だけを目的とするのではなく、経験をとおして「期待される保育者像」と「自らがめざす（なりたい）保育者像」が、ともに将来の志となることをめざして取り組みましょう。

《授業の到達目標》

1. 自分なりの問題意識をもち子どもの人権に関わる課題を指摘できる。
2. 論文作成に必要なデータを収集し、分析する力量を高める。
3. 学んだことを論理的に表現する力量を高める。
4. 「期待される保育者像」と「自らがめざす（なりたい）保育者像」についての考えを深める。

各自が課題意識をもち、研究論文に必要な書籍や資料等を収集し、内容を理解しておきましょう。「自らがめざす（なりたい）保育者像」について、具体的の姿を思い描きながら自分の考えを構築していきましょう。

《成績評価の方法》

平常点（グループワークやディスカッション等への参加状況）30%、課題（研究論文・発表）70%

《参考図書》

授業で参考図書の紹介や資料配付を行います。

《教科書》

指定しません。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
 担当形態：単独
 幼稚園免許：－
 保育士資格：必修
 備考：

《担当教員の実務経験と授業の関連》

教育現場や教育行政の経験をふまえた実践事例の紹介や実践者との交流などを取り入れ、授業を進める予定です。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	研究論文作成の道筋の理解	研究論文作成にあたっての手続きを理解し、計画を立てましょう／研究論文の執筆計画記入【60分】
2	文献の収集と要旨論評①	先行研究の収集・整理とレビューを行います／文献の収集と整理【60分】
3	文献の収集と要旨論評②	先行研究の収集・整理とレビューを行います／文献の収集と整理【60分】
4	文献の収集と要旨論評③	先行研究の収集・整理とレビューを行います／文献の収集と整理【60分】
5	文献の収集と要旨論評④	先行研究の収集・整理とレビューを行います／文献の収集と整理【60分】
6	論文作成の準備①	各自のテーマ及び計画の見直し（個別相談を含む）／全体構成、章立ての作成【60分】
7	論文作成の準備②	各自のテーマ及び計画の見直し（個別相談を含む）／全体構成、章立ての作成【60分】
8	研究論文の執筆①	研究論文として整理します（個別指導・意見交流）／論文作成【60分】
9	研究論文の執筆②	研究論文として整理します（個別指導・意見交流）／論文作成【60分】
10	研究論文の執筆③	研究論文として整理します（個別指導・意見交流）／論文作成【60分】
11	研究論文の執筆④	研究論文として整理します（個別指導・意見交流）／論文作成【60分】
12	研究論文の執筆⑤	研究論文として整理します（個別指導・意見交流）／論文作成【60分】
13	研究発表の準備①	研究発表の概要、発表方法を検討します／研究発表の準備【60分】
14	研究発表の準備②	【課題研究】研究発表準備を行います／研究発表の準備【90分】
15	研究発表会	【課題研究】研究発表会で、自分の研究成果を報告します／他のゼミ生の発表の感想記入【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	田村 みどり				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期の保育実践演習を踏まえ、さらに自分達で議論を重ねながら「遊びを通して子どもは学ぶ事」を知る。機能練習遊び・世話遊び・ままごと遊び・机上遊び・構成構造遊び他色々な遊びを通して、小学校教育を見通した、0歳児～就学前の子ども達の遊びがいかに「学び」へとつながりがあるのかを各自設定したテーマで論文を作成する。論文作成と共に、現場で役立つ遊具を制作して、実践力も身につける。

《参考図書》

随時、必要に応じて配付する。

《教科書》

そのつど、必要に応じてプリントを配付する。

《授業の到達目標》

1. 研究テーマに関する専門知識を習得する。
2. 0歳児～就学前の遊びが小学校教育の学びへとつながることを習得する。
3. 研究発表に向けて、グループでプレゼンテーションの工夫や研究内容を論理的に説明できる。
4. 研究課題に沿って、グループで協力して研究発表を行う。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：
保育士：必修

《成績評価の方法》

平常点（授業への取り組み）50%、課題（論文・発表）50%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	前期授業の復習	前期授業の振り返り/乳幼児の年齢発達を丁寧に確認する【30分】
2	研究計画作成①	研究テーマを具体化・立案/グループで研究テーマについて整理する【30分】
3	研究計画作成②	研究テーマの明確化・分析/他のグループの意見も参考に研究テーマをグループで確認する【30分】
4	研究計画作成③	研究テーマの振り返り/各グループの研究テーマを知って、グループのテーマを再確認する【30分】
5	研究資料収集①	0歳児～就学前の遊びの資料収集/文献・資料等の資料収集をグループで分担する【30分】
6	研究資料収集②	0歳児～就学前の遊びの資料収集/文献・資料等の資料収集をグループで分担する【30分】
7	研究資料収集③	0歳児～就学前の遊びの資料収集/文献・資料等の資料収集をグループで分担する【30分】
8	研究資料収集④	文献・資料の整理/こどもの遊びが学びにつながることを再確認して作成に取り掛かる【30分】
9	研究論文作成①	論文作成の助言・指導/論文作成する【30分】
10	研究論文作成②	論文作成の助言・指導/論文作成する【30分】
11	研究論文作成③	執筆中の論文の添削指導/論文の添削指導を受ける準備をする【30分】
12	研究論文作成④	研究論文・資料整理/論文の添削指導を受ける準備をする【30分】
13	研究発表準備①	研究論文・資料整理/発表に向けて、練習や準備物を作成する【30分】
14	研究発表準備②	【課題研究】研究論文・資料整理・プレゼンの整理/発表に向けて、練習や準備物を作成する【90分】
15	研究発表会	【課題研究】グループで研究発表をする。/グループで作成した遊具を活用して、発表準備をしておく。【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	土田 幸恵				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

保育実践演習Bでは演習Aで抽出・検討した問題に対する個別のテーマについて、研究計画に基づき実施し、論文にまとめる。文献調査や解決するために必要な調査・実験研究（食事調査、質問紙調査、調理科学的実験、官能評価など）や食育に関する教材研究を行う。テーマ別、対象別で解決方法を検討し、考察する。論文は一人1テーマとし、各自が検討した内容について論文を作成する。

《参考図書》

なし

《教科書》

『子どもの食と栄養演習ブック』松本峰雄監修（ミネルヴァ書房）

《授業の到達目標》

1. 子どもの食を取り巻く環境に関連する問題について広範囲にまたは専門的に考察する能力を習得する。
2. 教材研究等を通して、保育現場での食育の実践力を習得する。
3. 論文作成能力、プレゼンテーション能力を習得する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

平常点30%、課題（論文等）50%、発表20%により評価する

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	研究計画	研究計画の再考/研究テーマに関する文献を集めておく【30分】
2	調査および教材研究の実施	研究計画に基づいて、調査や教材研究などを実施する/文献レビュー【30分】
3	調査および教材研究の実施	研究計画に基づいて、調査や教材研究などを実施する/調査票等の作成【30分】
4	調査および教材研究の実施	研究計画に基づいて、調査や教材研究などを実施する/調査票等の作成【30分】
5	調査および教材研究の実施	研究計画に基づいて、調査や教材研究などを実施する/調査票等の作成【30分】
6	調査および教材研究の実施	研究計画に基づいて、調査や教材研究などを実施する/調査データの分析【60分】
7	調査および教材研究の実施	研究計画に基づいて、調査や教材研究などを実施する/調査データの分析【60分】
8	研究論文の作成	研究論文の作成/文献の収集と整理【30分】
9	研究論文の作成	研究論文の作成/文献の収集と整理【30分】
10	研究論文の作成	研究論文の作成、初稿の提出/研究論文の作成【30分】
11	研究論文の作成	研究論文の再考/研究論文の作成【30分】
12	研究論文の作成	研究論文提出、抄録の作成/抄録の作成【30分】
13	研究発表の準備	パワーポイントを使って発表の準備をする/パワーポイントを使って発表の準備【30分】
14	研究発表の準備	【課題研究】パワーポイントを使って発表の準備をする/発表原稿の準備【90分】
15	研究発表会	【課題研究】研究発表会/発表の準備【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	恒川 直樹				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

後期のテーマ: 保育者のまなざしで子どものすがたを捉えて表現する。
 保育の場では、同僚や保護者と口頭や文章などで情報を伝え共有することがしばしばあります。そのためには、子どものすがたを「保育者としてのまなざし」で捉えて、生き生きと表現する力が必要となります。そうして様々な視点から捉えた子ども理解を深めることが、次の実践へとつながります。このゼミでは、前期に取り組んだことを土台にして、こうした力を身につけるためのいくつかの手法を体験的に学びます。そして、「子ども・子育て・保育かるた」の制作・発表を通じて、自分自身が関わりながら観察した子どものすがたを、他者に伝えて共有し、その魅力を共に味わいながら考察を深める力を養います。

《授業の到達目標》

1. 保育者としてのまなざしで、自分が関わった子どものすがたを捉えることができる。
2. 自分が捉えた子どものすがたを、他者が共有できるように生き生きと伝えることができる。
3. 子どものすがたを共有することを通じて、様々な視点から子ども理解を深めようとする姿勢を持てる。

《成績評価の方法》

課題（課題研究①②）30%、発表20%、平常点（授業内で取り組むワークシート）40%

《参考図書》

授業時に適宜紹介します。

《教科書》

プリント等を適宜配付します。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
 担当形態：クラス分け
 幼稚園教諭：－
 保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	イントロダクション	ゼミの概要と進め方について／授業内で取り組んだワークシート①完成【30分】
2	保育者のまなざしで捉える(1)	子育て支援施設やこども園等での観察(1)／授業内で取り組んだワークシート②完成【30分】
3	保育者のまなざしで捉える(2)	子育て支援施設やこども園等での観察(2)／授業内で取り組んだワークシート③完成【30分】
4	保育者のまなざしで捉える(3)	子育て支援施設やこども園等での観察(3)／授業内で取り組んだワークシート④完成【30分】
5	他者に伝えて共有する(1)	同僚との情報共有(口頭、カンファレンス、メモ、引き継ぎノート等)／授業内で取り組んだワークシート⑤完成【30分】
6	他者に伝えて共有する(2)	保護者への伝達(口頭、懇談、連絡帳、お便り等)／授業内で取り組んだワークシート⑥完成【30分】
7	共に味わい理解を深める(1)	自分は何ぞ子どものそのすがたを伝えたいのか?／授業内で取り組んだワークシート⑦完成【30分】
8	共に味わい理解を深める(2)	多様なまなざしから重ね合わせる子どものすがた／授業内で取り組んだワークシート⑧完成【30分】
9	発表に向けて(1)	「子ども・子育て・保育かるた」の制作(1)／「子ども・子育て・保育かるた」の制作【30分】
10	発表に向けて(2)	「子ども・子育て・保育かるた」の制作(2)／「子ども・子育て・保育かるた」の制作【30分】
11	発表に向けて(3)	「子ども・子育て・保育かるた」の制作(3)／「子ども・子育て・保育かるた」の制作【30分】
12	発表に向けて(5)	「子ども・子育て・保育かるた」大会の実施準備／かるた大会の会場設営計画等【30分】
13	発表会	「子ども・子育て・保育かるた」大会開催／かるた大会の発表準備と振り返り【30分】
14	保育者のまなざしで捉える(4)	【課題研究】子育て支援施設やこども園等での観察を記録にまとめる。／課題研究①の作成【90分】
15	発表に向けて(4)	【課題研究】「子ども・子育て・保育かるた」の制作(4)／課題研究②の作成【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	中村 妙子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期「保育実践演習A」での中間まとめをベースにⅡ期での“かがくのともは、絵本?!”のつづきからスタートします。Ⅱ期をまとめた後、絵本ファイルをベースに各テーマに関する基礎的な学びをもとに、より個別的なテーマを設定し、学びを深め、研究論文としてまとめていきます。
一冊の絵本を取り上げてよし、Ⅰ期とⅡ期の対比などを取り上げてよし、現場保育者のインタビュー・アンケート結果や現場の保育評価スケール結果をまとめるもよし。検証していくと必ず子どもたちの育ちに関連した結果や過程が見えてきます。完成した絵本ファイルは必ず、現場で役に立ちます。共にわくわく感を持ちながら挑みましょう。

《授業の到達目標》

1. 実践に活かせる絵本ファイルを完成し、専門性を発揮する。
2. 論文作成に必要なデータを収集し、論文としてまとめる力を習得する。
3. 可視化（ポスター発表）することで、伝える力量を身につける。

《成績評価の方法》

課題（完成した研究論文）60%、発表（卒業論文発表会でのポスター発表）20%、絵本ファイル完成20%

《参考図書》

かがくのとものもと（福音館）

《教科書》

特になし※必要に応じてプリント等の資料を配付する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

なし

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	かがくのともは、絵本?!	子どもたちに届けるためのこんな見せ方面白い!/テーマに即した書籍を探す、絵本ファイル作成【60分】
2	かがくのともは、絵本?!	わたしが（自分）考えるかがく絵本・・・とは/それぞれの考えるかがく絵本紹介、絵本ファイル作成【60分】
3	Ⅱ期をまとめる	質の高い絵本「かがく絵本」のまとめと絵本ファイルの整理/Ⅱ期の振り返り、絵本ファイル整理【60分】
4	絵本ファイルを整える①	Ⅰ期・Ⅱ期のまとめと絵本ファイルの整理【60分】
5	絵本ファイルを整える②	Ⅰ期・Ⅱ期のまとめと絵本ファイルの整理【60分】
6	研究発表ポスター作成の道筋の理解	遠隔授業→ポスター（模造紙一枚）発表にあたっての手続きについて理解/ポスター作成計画記入【90分】
7	研究発表ポスター作成の道筋の理解	遠隔授業→ポスター（模造紙一枚）発表にあたっての手続きについて理解/ポスター作成計画記入【90分】
8	具体的なテーマ設定	各自がテーマに応じたオリジナルデータの採取方法を検討し、データ収集を行う/データ収集の方法の検討と絵本ファイル整理【60分】
9	個別指導①	各自のテーマや計画について個別相談と共有/絵本ファイル整理【60分】
10	個別指導①	各自のテーマや計画について個別相談と共有/絵本ファイル整理【60分】
11	発表用ポスター作成	研究発表会用のポスターを作成【60分】
12	発表用ポスター作成	研究発表会用のポスターを作成【60分】
13	課題研究の授業保障①	研究発表会用のポスターを作成、研究発表概要作成（完成ポスターの映像を入れてまとめる）【90分】
14	課題研究の授業保障②	研究発表会用のポスターを完成、研究発表概要作成（完成ポスターの映像を入れてまとめる）【90分】
15	研究発表会	研究発表会で、自分の研究成果を報告（ポスター発表の形式で実施）/他のゼミ生の発表の感想記入【30分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	原田 邦子				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

保育演習Aでの学びをもとに、伝承遊びが、子どもの育ちの中でどのような意味をもっているのか、「伝承遊びと育ち」に関する内容を基に研究テーマを設定し書籍・文献・現場での体験を通して学びを深めていく。
また、今後の保育実践にいかせるように各自で体験・習得した具体的な遊びについて各グループでまとめ発表することを目的とする。
あそびの実践資料の作成

<参考例>

- ・0歳児～5歳児を対象とした「遊びのカリキュラム」
- ・乳児・幼児を対象にした遊びの冊子 等

《授業の到達目標》

1. いろいろな伝承遊びを体験し習熟する。
2. 研究課題に沿って研究論文等を作成し、伝承遊びの持つ意味合いを理解し保育の実践につながるようあそびをまとめる。
3. 研究課題に沿ってグループで協力して論文を作成すると共に研究発表をおこなう。

《成績評価の方法》

平常点（受講態度・グループワークへの参加度）20%、課題（論文・提出物等）60%、研究発表 20%

《参考図書》

各自の研究テーマに合わせて適宜用意する。

《教科書》

必要に応じて資料配付

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	ガイダンス	授業の内容・進め方について概説 研究テーマの設定と研究内容、計画の検討/前期の学びから研究テーマの設定し再確認しておく【30分】
2	グループでのテーマ検討	各グループで研究テーマについて検討し設定する。/研究テーマを設定する【30分】
3	具体的なテーマ設定	各グループで具体的なテーマを決める/前期の学びや保育実践を通して振り返りテーマについて検討しておく【30分】
4	研究論文作成の準備	各グループの研究テーマに沿った文献・書籍・資料を準備する/研究テーマに沿った文献・書籍・資料を検索【30分】
5	研究論文について	論文の書き方を学ぶ/資料や保育実践を基に自分の意見をまとめておく【30分】
6	研究課題に対する文献の検索	研究課題に対しての文献の検索・整理/論文作成【30分】
7	研究課題に対する文献の検索	研究課題に対しての文献の検索・整理/論文作成【30分】
8	研究論文の作成	研究論文作成の助言・指導/論文作成【30分】
9	研究論文の作成	研究論文作成の助言・指導/論文作成【30分】
10	研究論文の作成	研究論文完成/発表の方法について検討しておく【30分】
11	研究発表準備①	研究論文・あそびのまとめ等資料の整理/発表に向けて必要な準備等グループで話し合っておく【30分】
12	研究発表準備②	発表資料の準備とプレゼンテーションの予行/論文やあそびの発表に向け練習や準備物を作成しておく【30分】
13	発表とまとめ	プレゼンテーション/発表できるように資料を整理しておく【30分】
14	あそびについての実践集作成①	【課題研究】グループで役割分担し資料の収集・整理をする/あそびについての資料収集及び整理をおこなう【90分】
15	あそびについての実践集作成②	【課題研究】各グループのテーマに沿った「あそびの実践集」等の作成/「あそびの実践集」等の作成【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	平野 真紀				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

子どもたちは造形表現活動や絵本の読み聞かせで新たな経験や発見に喜び、楽しむ過程で自分なりの感じ方や感性を培っていく。これらを前提に、保育実践演習Aを踏まえ、造形実践や絵本制作へのそれぞれの研究を深め、子どもたちが自らを一步成長させられる造形実践・絵本制作の環境設定を考察する機会にする。また、研究・実践の過程で以下のような保育者として必要な目的意識や課題意識について解説する。

《参考図書》

なし

《教科書》

なし

《授業の到達目標》

1. 造形・絵本実践を通し、自身の課題点や問題点について理解する。
2. ねらいに沿った保育実践の題材や内容を理解する。
3. 実践や検討した過程での結果・課題について理解する。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
 担当形態：単独
 幼稚園教諭：-
 保育士：必修

《成績評価の方法》

平常点（受講態度）10%、発表10%、課題（論文）80%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

私立幼稚園教諭として勤務。実務経験をもとに表現の多様性について授業を行う。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	保育実践(造形・絵本)	造形活動・制作絵本を活用した保育の実践/造形活動・制作絵本を活用した保育の実践について整理しておく【15分】
2	保育実践(造形・絵本)	造形活動・制作絵本を活用した保育の実践/造形活動・制作絵本を活用した保育の実践について整理しておく【30分】
3	保育実践の課題検討	実践の課題点・問題点の分析/実践の課題点・問題点の分析ができるように整理しておく【30分】
4	保育実践の課題検討	実践の課題点・問題点の分析/実践の課題点・問題点の分析ができるように整理しておく【30分】
5	保育実践の再検討	発達過程をふまえた保育実践案の検討/実践案の検討ができるように整理しておく【30分】
6	素材の研究	造形活動・絵本制作で使用する素材の研究/素材を集めたりするなど制作できるように収集しておく【30分】
7	素材の研究	造形活動・絵本制作で使用する素材の研究/素材を集めたりするなど制作できるように収集しておく【30分】
8	論文作成	研究経過・結果のまとめ/研究を分析・整理しておく【30分】
9	論文作成	研究経過・結果のまとめ/研究を分析・整理しておく【30分】
10	論文作成	研究経過・結果のまとめ/研究を分析・整理しておく【30分】
11	論文作成	研究経過・結果のまとめ/研究を分析・整理しておく【30分】
12	論文作成	研究経過・結果のプレゼンテーション作成/研究を分析・整理しておく【30分】
13	発表とまとめ	研究経過・結果のまとめ/研究を分析・整理しておく【30分】
14	保育実践(造形・絵本)	【課題研究】造形活動・制作絵本を活用した保育の実践/実践の振り返りを整理しておく【90分】
15	保育実践(造形・絵本)	【課題研究】造形活動・制作絵本を活用した保育の実践/実践の振り返りを整理しておく【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	山田 薫				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

前期「保育実践演習A」でまとめた各テーマに関する基礎的な学びを元に、より個別的なテーマを設定し、学びを深め、研究論文としてまとめていく。
前期で分析しまとめた事例研究と発表を生かし、保育現場での友達との遊びや関わりを通して、子どもが学んでいること、生きる力として身につけていっていることなどを考えていく。遊びの中で育まれる学びや育ちは、幼児期の終わりまでに育てたい10の力につながることや、非認知能力の育ちにつながっていることを検証し、個々の分析を論文としてまとめる。

《参考図書》

演習内で適宜配布および指定する。

《教科書》

特になし

《授業の到達目標》

1. 子どもの姿をしっかり観察し、その行動を分析する。
2. 観察、分析したことを紙面にまとめる力、事例として書く力をつける。
3. 研究テーマについて論文として、まとめる力をつける。
4. 各自が考察した内容をグループでまとめ、発表用ポスターを協力して作成する。
5. 研究内容について、プレゼンテーションを行い、人に伝える力を身につける。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A16
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修
備考：アクティブラーニング

《成績評価の方法》

課題（完成した研究論文）40%、ポスター作成の協力度30%、発表30%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	研究論文作成の理解	研究論文作成にあたって研究計画を作成する/研究論文の執筆計画記入【30分】
2	研究計画の作成	研究計画を完成させる/文献の収集と整理【30分】
3	資料の収集、文献の研究 (1)	研究内容に関する自主研究/文献の収集と整理【30分】
4	資料の収集、文献の研究 (2)	研究内容に関する自主研究/文献の収集と整理【30分】
5	資料の収集、文献の研究 (3)	グループディスカッションによる意見交流/グループディスカッションのまとめ【30分】
6	資料の収集、文献の研究 (4)	グループディスカッションによるまとめ/グループディスカッションのまとめ【30分】
7	研究計画の見直し、中間 報告	研究内容の進捗状況の発表/研究計画の見直し【30分】
8	研究論文の執筆(1)	論文の作成、執筆/論文の章立て作成【30分】
9	研究論文の執筆(2)	論文の作成に関する助言・指導/卒業論文の執筆【30分】
10	研究論文の執筆(3)	発表内容のプレゼンテーション作成/卒業論文の執筆【30分】
11	研究論文の執筆(4)	論文およびプレゼンテーションの完成/プレゼンテーション作成【30分】
12	研究発表の準備(1)	各自の研究内容を発表し合い、発表するグループを組む/卒業論文の推敲【30分】
13	研究発表	各自の研究発表を行う/発表について振り返る【30分】
14	論文の執筆(5)	【課題研究】自分で資料をまとめ、論文の原稿を作成/原稿作成【90分】
15	研究発表の準備(2)	【課題研究】研究発表会用の資料や原稿を作成/原稿作成【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習 B				
担当者氏名	村上 成治				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

本演習は、前期の保育実践演習 A で得られた運動指導の実践理論の知見をもとに、各個人が興味を持った運動に関する研究テーマを設定し、先行研究や文献、データ収集などから得られた結果をもとに分析・検討を加え研究論文としてまとめていくことを目的とする。研究テーマは運動に関することであれば概ね可とするが、将来現場に立つ保育者としては子どもたちに「楽しさ」の中で正しい動きを合理的に指導できるスキルが必要と考えられる。よって、運動に関する「動き」、「運動モルフロジー」、「動きの構造」、「動きの系統性」、「技術の類縁性」などから運動指導に役立つ知見を得ることができる研究を期待する。

《参考図書》

演習内で紹介、または自身で選考する。

《教科書》

指定なし。

《授業の到達目標》

1. 子どもの発育発達に伴って変化する運動への欲求や運動技術を理解する。
2. 子どもの学習レディネスを考慮した運動指導を理解する。
3. 研究論文に必要な先行研究や文献、データを収集し、得られた情報からその事象を客観的に分析する。
4. 分析・検討から導き出された結論を論理的な文章で表す。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A 1 6
担当形態：クラス分け
幼稚園教諭：－
保育士：必修

《成績評価の方法》

研究論文—70%
研究発表—20%
課題—10%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	研究論文のテーマを絞る	研究論文のテーマに関して方向性を検討/研究論文のテーマを再検討【60分】
2	テーマを決定し分析方法を考える	研究論文のテーマを決定し、どのような分析方法を用いて結論に導くかを考える/分析方法の構築【60分】
3	参考文献の選考	参考文献を整理する/参考文献の収集と整理【60分】
4	先行研究の収集	先行研究を整理する/先行研究の収集と整理【60分】
5	データの収集①	研究目的に応じたデータの収集を行う/データ収集の方法の検討【60分】
6	データの収集②	研究目的に応じたデータの収集を行う/データ収集と整理【60分】
7	データの分析・検討	得られたデータを分析・検討する/データの分析と検討【60分】
8	研究論文の執筆①	分析・検討を加え結論を導き出し論文を作成する/研究論文の執筆【60分】
9	研究論文の執筆②	分析・検討を加え結論を導き出し論文を作成する/研究論文の執筆【60分】
10	研究論文の執筆③	分析・検討を加え結論を導き出し論文を作成する/研究論文の執筆【60分】
11	研究論文の執筆④	分析・検討を加え結論を導き出し論文を作成する/研究論文の執筆【60分】
12	発表用資料の作成①	研究発表会用のポスターを作製/ポスター作成【60分】
13	研究発表会	自身の研究結果を発表し、質疑があれば応答する/他のゼミ生の研究に感想を記入【60分】
14	【課題研究】参考文献を読み込む	【課題研究】参考文献を読み込み内容を理解し整理する/参考文献の精査【90分】
15	【課題研究】先行研究を読み込む	【課題研究】先行研究を読み込み内容を理解し整理する/先行研究の精査【90分】

《専門教育科目 保育士資格関連科目 総合演習》

科目名	保育実践演習B				
担当者氏名	吉見 英里				
授業方法	演習	単位 卒業の必修・選択	1・選択	開講年次・開講期	2年・後期
科目／施行規則に定める 科目区分又は事項等	○ (保) - 総合演習				

《授業の概要》

子どもを取り巻く環境と体力との関係について理解を深める。普段抱えている疑問から保育観をより意識し、課題解決を図ることに自ら学び、保育に役立てることができるよう探究する活動を行なう。保育実践演習Bでは研究課題に関連した興味のあるテーマからグループ討論を行なう。討論の後、各受講者の研究テーマを決定し、論文作成を進めていくこととする。どのような文献を読む必要があるかについては、受講者のテーマが確定した後、個別指導を行なう。

《参考図書》

適宜配布する

《教科書》

なし

《授業の到達目標》

1. 子どもの体力について知識を深めることができる。
2. 各種資料をまとめてレポートを作成することができる。
3. 選んだテーマについて自分の考えを論理的に述べるができる。

《科目番号／担当形態／免許資格の必修区分／備考》

科目番号：A 1 6

担当形態：クラス分け

幼稚園教諭：－

保育士：必修

備考：アクティブラーニング実施

《成績評価の方法》

授業出席を評価の前提とする。

提出物（計画書、論文、抄録）70%、発表（パワーポイント、資料）30%

《担当教員の実務経験と授業の関連》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容／学習課題【予習復習・時間】
1	実験・調査の実施3	実験・調査の準備を行なう/実験・調査の準備を行なう【30分】
2	実験・調査の実施4	実験・調査の準備を行なう/実験・調査の準備を行なう【30分】
3	研究論文の作成1	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
4	研究論文の作成2	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
5	研究論文の作成3	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
6	研究論文の作成4	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
7	研究論文の作成5	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
8	研究論文の作成6	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
9	研究論文の作成7	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
10	研究論文の作成8	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
11	研究論文の作成9	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
12	研究論文の作成10	研究論文の作成を行なう/研究論文の作成【60分】
13	研究発表会	研究発表会を行なう/発表準備を行なう【60分】
14	課題研究による授業保障回(1)	【課題研究】研究発表準備を行なう/発表準備を行なう【90分】
15	課題研究による授業保障回(2)	【課題研究】研究発表準備を行なう/発表準備を行なう【90分】